**企画書**

（一社）潮来青年会議所 主催　子育て支援イベント

**いたこ「ゆうえん寺」大作戦**

2022年4月12日現在

文責：一般社団法人　潮来青年会議所

理事長　村上定運

①現状分析

　潮来市は、昨年市制施行20周年を迎えた茨城県の自治体です。主な産業としてコメの生産が盛んな他、市の花にも指定されているアヤメや近年取り組んでいるマコモを名物としています。近隣には鹿島神宮で有名な鹿島市などがあり、同市に所在する日本製鉄に関連する企業に勤める方のベッドタウン的な役割を担っています。6月にはあやめ祭り、夏には素鵞熊野神社の祭礼や万燈会が開催されます。

　しかしながら、深刻な少子化などによる人口減少が問題視されています。令和3年度の新生児は年末までで未だに100人に満たない状況です。新成人をお祝いする式典も絶対数の減少に伴って年々参加者が少なくなっています。その理由として潮来青年会議所は、子供世代にとっていわゆる「ふるさとわがまち」を感じる機会が少ないということに着目しました。新型コロナウイルスの影響により各種お祭りが中止になり、その傾向は加速しています。

②企画の目的と全体像

　そこで、親子が共に過ごすことの出来る体験を創出することによって現在市内に居住する子育て家庭に市のイメージを向上させ、更には今回の企画に参加してくださった子供世代が出身地を自慢できる要素を増やすことを目指します。

　会場は市内の寺院「潮音寺」を選びました。ここは昭和50年、時の大政治家・橋本登美三郎氏が街の安寧と母なる心を育てる拠点として創建され、その際のスローガンが「母と子を護らせ給え慈母観音」とされています。

　親と子の絆を育てるための場所として境内を利用することは、お寺の理念にもJCとしての目的にも、また潮来市にとってもプラスになるものと思います。自然公園ではなく文化や歴史を学ぶきっかけとなることも開催地選定理由です。

　親子が楽しむ場所の代表として「遊園地」を定め、会場がお寺ということで「遊園寺（ゆうえんじ）」という名称にしました。市名を掲げることで「わがまちふるさと」の印象を強め、幼児～高校生までの年代層を対象にしたブースを設けることで、より集客を見込みます。また、乳幼児をお連れになる親御さんが安心して過ごせる環境を整え、感染対策にも配慮しながら広い空間で楽しめるイベントを目指します。

③企画の概要

日時：2022年5月3・4・5日（火・水・木3日ともに祝日）

　　　各日程10:00～17:00

　　　※会場となる潮音寺は8時から参拝が可能。

会場：慈母観音　水雲山潮音寺（茨城県潮来市日の出4-7）

入場：無料（一部有料施設あり）

④関係団体

主催：一般社団法人　潮来青年会議所

共催：潮来市商工会青年部

協賛：アパレルブランドSPINNS、

　　　株式会社セキネネオン、

　　　学校法人慈母学園、

　　　株式会社日本能率協会マネジメントセンター、

　　　ヒノキ新薬株式会社、

　　　法相宗水雲山潮音寺、

協力：潮来高校JRC、

　　　潮来ライオンズクラブ、

　　　ボランティア団体チームスマイル、

　　　わくわくネット６５

後援：潮来市

⑤内容一覧

・エア遊具（レンタル・つくばeci）＠中央広場

※三十三観音前にも小サイズエア遊具設置（商工会より借用）

・ミニSL（ヒノキ新薬株式会社提供）＠幼稚園前駐車場

・ペダルカー（nostalgic toys提供）＠幼稚園前駐車場

・サッカー９ゴール（チームGUTS協力）＠中央広場

・SPINNSポップアップショップ（SPINNS、潮来高校）＠講堂

・現代作家による作品展（慈母学園提供）＠無量寿殿

・キッチンカー各種（チームスマイル協力）＠三十三観音前エリアで飲食

※出店者は日ごとに入れ替わり、それぞれ営業許可届け出業者のみ出店。

・ショー（空手演武・HIPHOPダンス・フラダンス・よさこい・他）＠中央広場

出演者：錦照会、拳友会、ダンススタジオ　アポロ、HIDEKIダンススクール、フラハラウ・ロコマイカイ等

・個別ブース（読み聞かせ、バルーンアート、パイプオルガン等）＠中央広場

出展者：りあん編集室、わくわくネット６５